

利尻島におけるアイアシの初確認

宮本誠一郎¹⁾・佐藤里恵²⁾・佐藤雅彦³⁾

¹⁾ 〒097-1201 北海道礼文郡礼文町香深入舟 レブンクル自然館

²⁾ 〒097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字栄浜

³⁾ 〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

New distribution of *Phacelurus latifolius* from Rishiri Island

Seiichirou MIYAMOTO¹⁾, Rie SATO²⁾ and Masahiko SATO³⁾

¹⁾The natural REBUNCLE, Kahuka, Rebun Is., Hokkaido, 097-1201 Japan

²⁾Sakaehama, Kutsugata, Rishiri-cho, Rihiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

³⁾Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

Keywords: new distribution, *Phacelurus latifolius*, Rishiri Island

筆者らは2009年9月に利尻島西部の海岸においてアイアシ *Phacelurus latifolius* (Steud.) Ohwi を確認したので、以下に報告する。

分布が確認されたのは利尻町杓形の杓形岬公園の海岸であり、利尻礼文サロベツ国立公園の第二種特別地域に含まれる。本地域には杓形溶岩流上に形成された海岸草原が広がり、アイアシはアシ、テンキグサ、イワノガリヤス、ススキなどと群生し、その分布は車道脇約50m、およそ700m²に渡り広がっていた(図1, 2)。筆者らが初めて本種に気づいたのは2009年9月20日であったが、古い写真などの再確認により2006年8月には既に本地域への分布があったことが判明している。

アイアシはイネ科アイアシ属の多年草で海岸地方に群生し、「小穂は花序の枝に密着し、太い柄のあるものと無柄の小穂が、対になる」(滝田, 2001) ことが大きな特徴であるとともに、識別点のひとつとされている(大井, 1982; 桑原, 1974; 長田, 1989)。高さ1m内外で、長さ20~40cmの葉身

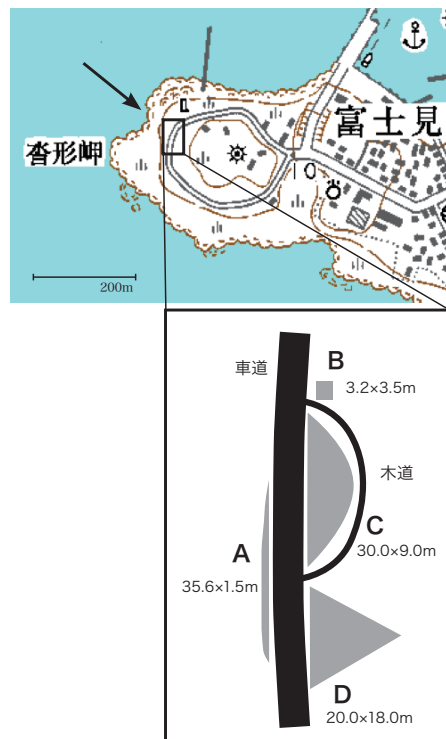


図1. 利尻町で確認されたアイアシの分布図。車道脇の海岸草原にAからDの4つの小群落が認められた。数値地図25000(地図画像)「稚内」(国土地理院)をもとに作成。



図2. 杵形岬公園における生息環境。海岸に近い車道脇にアイアシが広がる。写真中央の対岸に見える島は礼文島。(2010.ix.20, 宮本撮影)

は広線形を呈し、大型のイネ科のアシなどに似るため、花序がないと識別が難しい。北海道から九州にかけて分布し、北海道内では渡島、桧山、胆振、日高、後志地方からの記録のほか(伊藤ほか, 1990)、道北地域からは志田ほか(2006)が焼尻島における分布を報告している。

利尻島における植物相については、館脇(1941)、菅原(1962)、中村ら(1968)、松野(1984)などが、その海岸植生については石垣・西谷(1982)が報告しているが、いずれの文献においてもアイアシの記録は記されていない。また、杵形岬公園の対岸に位置する礼文島においても、本種は未確認である(館脇, 1934; 宮本, 未発表)。利尻島における本種の分布が本地域以外では確認されていないことや、島内における分布が1地点であり、なおかつ車道脇に限られることなどから、車道整備などにかかわる人為的な影響によって本種が本地域にもたらされたものではないかと想像された。しかし、近年のオニハマダイコンの分布のように、なんらかの原因でアイアシの自然分布が広がった可能性も考えられる(小杉・佐藤, 2010)。本島における海岸植生についてはまだ未解明の部分もあるため、今後、道北北部各地の海岸も含めた更なる調査とともに、その植生の変化などにも気をつけていく必要があるだろう。

参考文献

- 石垣純一・西谷栄治, 1982. 利尻町の海岸植物. 利尻研究, (1): 18-21.
- 伊藤浩司・日野間 彰・中井秀樹(編). 1990. 北海道高等植物目録II. たくぎん総合研究所. 札幌. 288pp.
- 小杉和樹・佐藤雅彦, 2010. 利尻島におけるオニハマダイコンの記録. 利尻研究, (29): 63-64.
- 桑原義晴, 1974. 日本イネ科植物生態図譜1巻. 北陸の植物の会. 金沢. 105pp.
- 大井次三郎, 1982. イネ科. 佐竹義輔ほか編, 日本の野生植物 草本I: 85-126. 平凡社.
- 長田武正, 1989. 日本イネ科植物図譜. 平凡社. 759pp.
- 利尻町立博物館・利尻島自然情報センター, 1997. 利尻島産植物目録. 利尻町立博物館・利尻島自然情報センター.
- 志田祐一郎・磯野 直・佐藤美穂子・笈田一子, 2006. 焼尻島の植物相. 利尻研究, (25): 13-28.
- 滝田謙讓, 2001. 北海道植物図譜. 1452pp. 自刊.
- 館脇 操, 1934. 北見礼文島植物概説, 植物目録: 1-24. 北海道景勝地協会. 札幌.
- 館脇 操, 1941. 北見利尻島の植物. 札幌農林学会報, (34): 70-102.